

# 九州大学 大型計算機センターニュース

No. 389

1989. 3. 8

福岡市東区箱崎6丁目10番1号  
九州大学大型計算機センター  
広報教育室(TEL092-641-1101)  
内線 2505

## 目 次

- |  |   |
|--|---|
| 1. PFDのレベルアップについて .....                      | 1 |
| 2. af 77 コマンド (UTS) のオプション追加について .....       | 2 |
| 3. AF 77 コマンド (MSP) のオペランド追加について .....       | 2 |
| 4. 画像情報システムFIVIS用カラーグラフィックカメラ装置の設置について ..... | 3 |

### 1. PFDのレベルアップについて

3月13日(月)から、標記システムをレベルアップします。主な追加機能は、以下のとおりです。

(1) 編集において、次の機能を追加

- ・編集中のデータの各行をソートするSORTコマンドを新設
- ・SAVEコマンドにリナンバの可否を指定するNUM/NONUMオペランドを追加
- ・区分データセット保存時の自動圧縮機能を追加

(2) 入力フィールドの長さを超えるコマンド等を入力する場合、継続記号 '-' または '+' を使用することにより、複数行の入力が可能になる。

詳細については、参考文献を参照して下さい。

〔参考文献〕

1. FACOM OSIV/F4 MSP PFD使用手引書 プログラム開発機能編  
(78SP-3101-4 差替版数 02-S5718)
2. FACOM OSIV/F4 MSP PFD使用手引書 日本語処理機能編  
(78SP-3110-2 差替版数 03-S4785)  
(ライブラリ室(電)内線2508)

## 2. af77 コマンド (UTS) のオプション追加について

UTS側のFORTRANプログラムを、MSPまたはVPCFでバッチ処理するaf77コマンドに次のオプションを追加しました。このオプションを指定すると、FORTRANメッセージが日本語で出力されます。

追加されたオプション : -j

使用例1 FORTRANプログラムファイルtest.fの翻訳のみを行い、文法エラーを調べる。翻訳時のFORTRANメッセージを日本語で出力するよう指定する。

```
% af77 -c -j test.f
```

使用例2 FORTRANプログラムファイルtest.fをVP-200で実行する。装置参照番号5番からUTS側のファイルdataを入力し、FORTRANメッセージを日本語で出力するよう指定する。

```
% af77 -u5,data -j -VP test.f
```

なお、af77コマンドの使用方法についてはセンターニュース NO.379、FORTRANの日本語メッセージ出力機能についてはセンターニュース NO.383を参照して下さい。

(ライブラリ室 電 (内) 2508)

## 3. AF77 コマンド (MSP) のオペランド追加について

FORTRANプログラムを、MSPまたはVPCFでバッチ処理するAF77コマンドに次のオペランドを追加しました。このオペランドを指定すると、FORTRANメッセージが日本語で出力されます。

追加されたオペランド : JAPANESE (JAで省略可)

使用例1 TEST.FORT77の翻訳のみを行い、文法エラーを調べる。翻訳時のFORTRANメッセージを日本語で出力するよう指定する。

```
READY
```

```
AF77 TEST.FORT77 C JAPANESE
```

使用例2 TEST.FORT77をVP-200で実行する。装置参照番号5番からINPUT.DATAを入力し、FORTRANメッセージを日本語で出力するよう指定する。

```
READY
```

```
AF77 TEST.FORT77 UNIT(5:INPUT.DATA) VP JA
```

なお、AF77コマンドの使用方法についてはセンターニュース NO.381、FORTRANの日本語メッセージ出力機能についてはセンターニュース NO.383を参照して下さい。

(ライブラリ室 電 (内) 2508)

#### 4. 画像情報システムFIVIS用カラーグラフィックカメラ装置の設置について

2月20日(月)に標記装置を設置しました。これは、米国MATRIX社製の Color Graphic camera MODEL 3000型 (MultiColor) で、FIVISのディスプレイ装置から出力されるRGBのビデオ信号をカラー写真に焼付ける装置です。本装置により、ディスプレイ装置の画面を直接写真に撮ることなしに、高精度のカラーハードコピーを得ることができます。また、手動による色調整が可能であるため、モニターで再現できない色も得ることができます。使用可能なフィルムの種類は、次の通りです。

- ① ポラロイド SX-70フィルム
- ② 35mmフィルム
- ③ 8"×10" トランスベアレンシフィルム (OHPフィルム)

##### <利用上の注意事項>

(1) フィルムは、各自持参して下さい。下記のフィルムを推奨します。

① : Polaroid SX-70

② : Fujichrome RDP , Polachrome CS , Ektachrome EPN (コダック)

③については、ライブラリ室(内線2508)へお問合せ下さい。

(2) 使用に際しては、2F受付に申し出て各カメラバックの貸出しを受けて下さい。

(3) 撮影時は、フィルムの種類によりパラメータの設定が異なります。パラメータ調整の詳細については、装置横に置いてある利用マニュアルを参照して下さい。また、センターで設定済みのデフォルト値(①:Polaroid SX-70, ②:Fujichrome RDP)を変更した場合は、必ずもとの値に戻して下さい。

(ライブラリ室(電)内線2508)